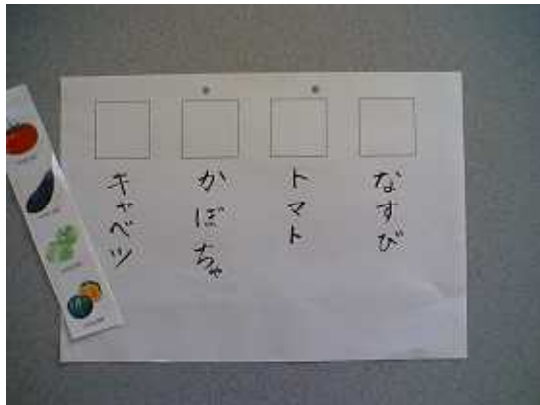


教材教具名 よんでみようひらがなカタカナ	教科(国語)
-------------------------	----------

教材教具写真



教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい ひらがなやカタカナを読むことができるようになる。
文字のかたまりとしてとらえ、読むことができるようになる。
- 2 発達段階 ほとんどのひらがなを読むことができるが、一文字ずつひろい読みをしている。
カタカナは読めるものが少ない。
- 3 使い方 絵シールを見ずにひらがな、カタカナを読む。
絵シールを貼り付ける。 と、いうように使いました。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)

この学習の前に、短冊カード(ひらがなが書いてある)と絵カードを合わせることに取り組んだ。カードをバラバラに混ぜてしまい、集中して文字を読むことにつながらなかった。シールに興味を持っていることからこの教材を作成した。読むことに興味をもち、集中して取り組むことができた。「りんご」「みかん」など3文字の何度も読んだ単語については、文字のかたまりとしてとらえて読むことができるようになった。今後は、「 が(は) します」といった文章に取り組んでいきたいと考えている。

◎絵シールは果物、野菜やハンバーグなどの食べ物のイラストを使いましたが、好きなキャラクターの絵を使うといった児童・生徒の興味関心に応じたものにするとういと思ひます。